

九州女子大学・九州女子短期大学 中期計画〔6ヶ年〕

(期間：平成20年度～平成25年度)

重点課題	事業方針	事業目標	部局の施策	業務・事業
学生確保	入学者選抜方法の充実	求める学生像が分かり易く、魅力ある大学であることが積極的にアピールされている入試であること	入学者受入れ方針の明確化	<ul style="list-style-type: none"> 大学・学部レベルのアドミッションポリシーの明確化及び周知
			入学者選抜方法の充実	<ul style="list-style-type: none"> 学科単位の入学者選抜方法、選抜基準の見直し スカラシップ等奨学制度の再検討 学生募集における教員の高校への密接な対応
教育活動	教育・研究内容と方法の充実	<p>学習意欲を喚起させ、学習の成果が社会に貢献することを保証する教育であること</p> <p>授業内容が、目標を達成するための基礎となる「研究活動の成果」を反映していること</p>	学生の質の確保	<ul style="list-style-type: none"> 成績評価法、成績評価基準の明確化及び周知 学習支援の専門アドバイザーの配置 入学前学習のサポート
			授業改善の支援体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> F D推進委員会の効果的運用
			学生の質の確保	<ul style="list-style-type: none"> 低学年次における導入教育(フレッシュマン教育)の実施 キャリア教育の充実(科目の開講) 少人数ゼミによるきめ細かい教育の実施 教養教育科目の組織的な再編成
			教育組織の充実	<ul style="list-style-type: none"> 大学・学部については、人材育成ニーズに応じて定期的に点検、評価し、専攻及び学科の見直し等を行う
学生支援	学生生活支援の充実	授業以外の学生生活における多様化したニーズに対してサポートが充実していること	相談・助言体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> 総合相談窓口「なんでも相談窓口(仮称)」の設置 生活面のマナー指導強化 学生生活専門のカウンセラーアドバイザーの配置
			経済支援の一層の拡充	<ul style="list-style-type: none"> 各種学外奨学金の情報収集と提供の充実 後援会による支援事業の拡充の要請 同窓会を中心とした「九女学生支援会(仮称)」の発足の要請
			学生ニーズの組織的な聴取	<ul style="list-style-type: none"> 学生満足度アンケートの実施 学生代表との定期的な意見交換システムの導入(キャンパスミーティング)
			ボランティア活動のサポート体制	<ul style="list-style-type: none"> 周辺地域の小学校へのボランティア活動
キャリア支援	学生生活支援の充実	授業以外の学生生活における多様化したニーズに対してサポートが充実していること	就職活動支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> 企業等に対する人材アンケート調査の実施 雇用主による卒業生の実績評価 就職指導の専門キャリアアドバイザーの配置 免許、資格支援体制の強化
研究推進	教育・研究内容と方法の充実	<p>学習意欲を喚起させ、学習の成果が社会に貢献することを保証する教育であること</p> <p>授業内容が、目標を達成するための基礎となる「研究活動の成果」を反映していること</p>	社会的ニーズへの対応	<ul style="list-style-type: none"> 卒業生による在学時の教育内容、方法の評価 教育実習現場等との連携強化 認証評価及び相互評価の実施 評価内容の向上、改善に直結的に結びつけるシステムの整備 ボランティア活動の教育システムとしての推進 学外体験学習(フィールド型授業)の推進
			授業改善の支援体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> カリキュラムと融合したIT活用教育の推進
			研究活動の促進	<ul style="list-style-type: none"> 競争的研究資金(科研費等)への応募の義務化や共同研究の積極的な推進 地域社会との研究活動の連携強化及び支援体制の整備 優れた研究活動に対する報奨制度の制定 研究活動の成果に対する点検、評価の実施

重点課題	事業方針	事業目標	部局の施策	業務・事業
国際化	国際化への対応	世界各国との交流が活発であること	協定校との交流拡充	<ul style="list-style-type: none"> 留学生支援体制の充実 学生及び教員の相互交流推進
教職員	事務等の効率化・合理化	教育研究支援のための事務体制が構築されていること	事務組織の機能・編成の見直し	<ul style="list-style-type: none"> 職員のより必要性の高い分野への再配置や事務組織の再編等により、事務機能の高度化を図る
			教員の人事評価	<ul style="list-style-type: none"> 教員の人事等評価について、大学全体の共通の評価項目等の基本的な枠組みを構築する
	人事の適正化	教職員の採用・昇任の方針が明確に示され、かつ適切に運用されていること 評価結果が教育研究に反映されていること 職員の資質向上のための取組みがなされていること	教員の昇任基準の明確化	<ul style="list-style-type: none"> 大学における教員の昇任基準の平準化を図る
			事務職員等の人事評価	<ul style="list-style-type: none"> 事務職員等の人事等評価について、民間企業等における人事考課制度を参考にしつつ、合理的な評価システムを構築する
			評価結果の活用	<ul style="list-style-type: none"> 評価結果は、給与等でのインセンティブ付与や任期付き教員の再任審査の基本的項目の一つとして審査に反映させる等の仕組みを設ける
管理運営	管理運営の改善及び効率化	管理運営体制が整備されており、適切に機能していること 管理部門と教学部門の連携が適切になされていること	効果的・機動的な運営	<ul style="list-style-type: none"> 福原学園教学懇談会を活用し、各種情報を学園の構成員が迅速に共有できるようにするとともに、教学と経営の意志決定システムの円滑な運用を図る 各種委員会については、全学的な意志決定を効果的、機動的に行える体制を整備する観点から、各種委員会の見直し、再編を行う 事務情報化を推進するとともに、設置大学内の一元化を図る
			教員・事務職員等による一体的な運営	<ul style="list-style-type: none"> 各種委員会に事務職員等が参画し、一体的な運営を図る
	社会的責務	財務情報の公開が適切な方法でなされていること 危機管理の体制が整備され、かつ適切に機能していること	情報公開等の推進	<ul style="list-style-type: none"> 財務内容の状況に関する情報を積極的に社会に提供する
			危機管理体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> 各種災害等の防止のための責任体制を明確にする とともに、その防止に関する対策を推進する
財務	財務内容の改善	財務内容の改善が図られていること	経費の抑制	<ul style="list-style-type: none"> 教育、研究の充実を図りつつ、効率的な大学運営の仕組みを構築し、管理運営経費の抑制を図る
			資産の運用管理	<ul style="list-style-type: none"> 経営的視点を重視し、資産の効果的、効率的な運用を図る
教育研究環境	教育研究環境の整備・充実	図書館機能が充実し、利用者サービスの向上が図られていること	附属図書館の整備と活用	<ul style="list-style-type: none"> 新しい学術情報の在り方に適応する機能を整えるとともに利用者のニーズに応じて効果的なサービスを提供する
		必要なキャンパスが整備され、適切に維持、運営されていること	計画的な施設整備と既存施設設備の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> 施設設備や情報基盤等の教育環境を整備充実し、有効に活用する
地域貢献	地域社会発展への貢献	大学の教育研究成果を公正かつ適切に学内外に広報活動する体制が整備されていること	情報公開等の推進	<ul style="list-style-type: none"> 大学の教育研究活動などの状況に関する情報を積極的に社会に提供する